【写】

７台監第１０４号
令和８年３月２７日

殿

台東区監査委員　畑　　克　海
同　　　　　　　太　田　龍　彦
同　　　　　　　青　鹿　公　男

令和７年度　定期監査（事業所、学校等）の結果について（報告）

地方自治法第１９９条第１項及び第４項の規定に基づき、標記監査を実施しましたので、この結果を同法第１９９条第９項の規定により、別紙のとおり報告します。

別紙

1　監 査 期 間

（１）事業所

令和７年８月２８日（木）～令和８年３月２７日（金）

（２）学校等

令和７年１１月２８日（金）～令和８年３月２７日（金）

2　監 査 対 象

（１）事業所

根岸図書館、石浜図書館、南部区民事務所、台東地区センター、
東上野地区センター、浅草橋地区センター、台東子ども家庭支援センター、
玉姫保育園、谷中保育園、千束保育園

（２）学校等

東浅草小学校、富士小学校、松葉小学校、千束小学校、石浜小学校、
金竜小学校、浅草中学校、桜橋中学校、駒形中学校、富士幼稚園、千束幼稚園、
金竜幼稚園

3　監査の範囲

主として令和６年度から令和７年度にかかる財務等における事務の執行状況及び施設の管理運営が、法令等に基づいて適正かつ効率的に行われているかどうかを主眼として実施した。

4　監査の方法

監査委員は、関係部課長、事業所長、学校長、園長から事務事業の運営状況及び予算の執行状況等の説明を聴取し質疑応答を行い、監査を実施した。

また、事務局職員は監査委員の命を受け、監査対象事業所・学校等から関係書類及び帳簿等の提出を求め、調査及び事情聴取等の予備監査を行い、その結果を監査委員に報告した。

予備監査における主な確認書類

（１）職員服務関係書類（出勤簿、休暇簿、超過勤務等命令簿、各種届出書等）
（２）旅費執行関係書類（旅行命令簿兼旅費請求内訳書、出張復命書等）
（３）経理関係書類（請書、各種整理簿、金券受払簿等）
（４）収入関係書類（施設使用許可・使用料減額免除申請書、収納金関係書類等）
（５）施設・備品管理関係書類（施設保守点検報告書、供用備品現在高一覧表等）
（６）給食関係書類〔※保育園〕（賄材料納品書、仕入帳等）

5　監査の結果

提出された関係書類等を基に、事務事業の執行状況や施設の管理運営等について監査したところ、おおむね良好に行われており、特に、指摘・指示を要する事項はない。但し、軽微ではあるが次のような口頭注意事項があったため、今後の適正な事務処理等に留意されたい。

（１）事業所

①旅費の申請について

既に、通勤費を伴う出勤の対象となっていた土曜日の出勤について、別途、旅費の申請がなされていた。旅費の申請にあたっては、適正な事務処理に努められたい。

②施設の維持管理について

排煙窓について複数の不具合が見うけられた。その中には、排煙窓自体が作動不良であるもの、あるいは作動はするものの排煙窓が狭い区画内に設置されているため、区画外の煙を排煙できない状況となっているものがみられた。

その他、雨漏れの原因となる外壁の劣化（ひび）、擁壁・塀のひびや傾斜などがみられた。計画的な施設の維持管理に努められたい。

（２）学校等

①服務関係書類の事務処理について

・休暇簿の記載不備

②経理関係書類の事務処理について

・請負契約の請書に仕様書が添付されていない。

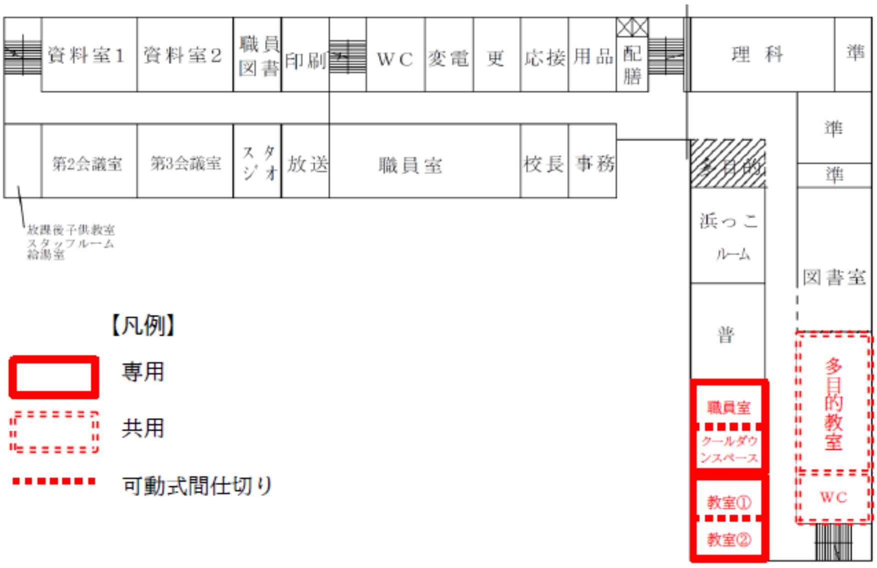
③施設関係について

・避難口において扉内側がサムターンでなく鍵による開錠となっていた。
・同様に玄関扉をチェーンと南京錠で施錠していた。
・避難階段の手前に掃除用具立てが置かれていた。

6　学校等実地確認事項

（１）特別支援学級新設に係る視察

石浜小学校において令和８年４月開設予定の自閉症・情緒障害特別支援学級の整備状況について視察を行い、説明を受けた。当該学級は、自閉症スペクトラム症や情緒障害により、特別支援教室での指導では効果が現れにくい児童生徒に対し、小集団で日常的にきめ細かな指導を行う固定学級で、令和７年度に環境整備が進められた。



（２）給食試食の実施

金竜小学校において給食試食を実施し、献立内容、調理方法及び食育の取組みについて栄養士から説明を受けた。試食した献立は、児童の嗜好や栄養バランスに配慮した内容となっており、調理方法やストローレス対応等についても現地で確認した。

・辛さ控えめキムチチャーハン
・ネギだれサラダ
・中華コーンスープ
・ネーブルオレンジ
・牛乳

７　監査委員との主な質疑応答

（１）事業所

監査対象事業所	根岸図書館　石浜図書館
監 査 実 施 日	令和７年１０月１０日（金）

主な質疑応答　（Ｑ：監査委員　　Ａ：事業所）

Ｑ	事務局より、外壁や屋根の劣化が報告されているが、他に施設のことで気になることはないか。
Ａ	（根岸）エレベーターがないため、足の不自由な利用者には、１階からインターフォンで呼んでもらい、階段を上がる手助けを職員が行っている。利用者にはご不便をかけている。 （石浜）エアコンの利きが悪い。また、女子トイレで紙が詰まる。
Ｑ	根岸図書館は、２０時まで開館しているようだが、仕事帰りの利用者が多いのか。
Ａ	仕事帰りの方もいるが、学生や親子での利用者のほうが多い。
Ｑ	根岸図書館の子供向け事業『図書館を貸し切り』とはどのようなものか。
Ａ	休館日に、小さなお子さんのいるご家庭に、図書館を１時間貸切りで利用していただくというものである。
Ｑ	二つの図書館の電気使用料を比較すると、使用量に対する金額が石浜図書館のほうが高いようだが、なぜか。
Ａ	施設全体の使用量を按分して金額負担しているが、石浜図書館のほうが根岸図書館より按分割合が大きいためである。
Ｑ	石浜図書館において、都立白鷗高校付属中学から職場体験を受け入れているが、依頼があったのか。また、なぜ石浜図書館が選ばれたのか。
Ａ	依頼があった。選ばれた理由は、日程的なことと過去の受け入れ実績と、思われる。なお、根岸図書館でも白鷗高校付属中学の職場体験を受け入れている。
Ｑ	Wi-Fi が整備されたということだが、学習室の中でも電子機器の利用が可能ということか。また、電子機器とはタブレットまたはパソコンをイメージしているのか。
Ａ	（根岸）学習室内全２８席のうち８席のみが電子機器持込可能な席となっている。なお、電子機器とはパソコン等の利用を想定している。 （石浜）電子機器利用席として４席設けている。パソコン利用のみを想定していたが、タブレット利用も含めるようにしている。

監査対象事業所	南部区民事務所　　台東地区センター 東上野地区センター　　浅草橋地区センター
監 査 実 施 日	令和７年１０月２３日（木）

主な質疑応答　（Ｑ：監査委員　　Ａ：事業所）

Ｑ	令和６年度の決算集計（区民館）について、光熱水費や工事請負費、委託料の不用額の理由は何か。
Ａ	光熱水費については、予算計上の段階では休館なく年間通して運営されることを前提としていたが、上野地区センターが空調工事のために休館したため光熱水費が減った。工事請負費や委託料における不用額の理由は、契約差金である。
Ｑ	令和６年度の決算集計（区民館）について、区民館の委託料があるが、どのような委託内容か。
Ａ	夜間の管理業務はすべて委託としている。また、台東地区センターは複合施設であり、防災センターを持っているため、それも委託している。他には設備の保守などが挙げられる。
Ｑ	南部区民事務所における5階の控室･調整室とはどのような利用をしているか。
Ａ	控室は業務委託している職員の休憩室として利用している。調整室では、４階多目的ホールの照明等の調整を行う。
Ｑ	台東地区において、外国人の旅行者は増えているか。また、それに伴ったトラブルはないか。
Ａ	旅行者は増加しているが、区域内に民泊などが少ないことからトラブルは少ない。あえて言うと、ホテル宿泊の外国人によるゴミ出しについてのトラブルがあった。
Ｑ	東上野地区センターの区民館利用状況について、４０１集会室の利用が増加しているがイベントなどができる部屋なのか。
Ａ	４０１集会室は一番広い集会室である。イベントではなく、サークル活動や企業の会議などによる使用が多く、利用率が最も高くなっている。
Ｑ	浅草橋地区センターの区民館利用状況において、有料が少なく免除・減額が多い傾向だが、何故か。
Ａ	ダンスや合唱などのサークル活動が多く、その中で社会教育関係団体となっているものは減額となっている。また会社での利用は少ない。

監査対象事業所	台東子ども家庭支援センター
監 査 実 施 日	令和７年１０月２３日（木）

主な質疑応答　（Ｑ：監査委員　　Ａ：事業所）

Ｑ	最近の相談内容について、どのような傾向がみられるか。

A	コロナ禍にリモートが広まったことから、家庭で仕事するお父さんが増えた。その結果、仕事の邪魔にならないよう外出するなど母子は気を使わなくてはならなくなった、という声をひろばでよく聞くようになった。
Q	子どもに暴力を働いてしまうような産後うつについての相談もあるか。
A	そのような深刻な相談の場合は、日本堤子ども家庭支援センターの相談担当を紹介している。
Q	７年４月から８月までの５か月の実績は例年の実績より少ないようだが、季節的な利用者数の変動や相談内容の変化はあるか。
A	例年４月・５月は子ども家庭支援センターの利用者が減少する。理由は、保育園に入園する方や近隣児童館を利用するようになる方が増える傾向にある。相談内容については季節的な変化はない。
Q	「はじめてのおるすばん」や「クローバーズ」のイベントを土曜日に実施しているのはなぜか。
A	事前に行ったアンケートによると、土曜が休みの父親が多かったため、参加しやすい土曜日とした。
Q	対象は３歳までということだが、３歳未満の子と３歳を超えるお兄さん・お姉さんの組み合わせによる利用は可能か。
A	上の子が未就学児であり、下の子が０～３歳であれば、一緒に利用できる。
Q	他の３つの子ども家庭支援センターと比較して、台東の特色は何か。
A	ひとり親の「クローバーズ」や、「はじめてのおるすばん」といった事業は、台東だけの事業である。また、「おおきな木」というイベントも専門相談員が月に一回、お母さんたちとグループで子育てについて話をしている。
Q	職員はみな保育士ということだが、区内の保育園で勤めていた台東区の保育士なのか。
A	常勤３名については台東区の職員である。非常勤の保育士は異動も激しく確保が難しい。

監査対象事業所	玉姫保育園　谷中保育園　千束保育園
監 査 実 施 日	令和７年１０月２７日（月）
主な質疑応答　（Q：監査委員　　A：事業所）	
Q	運営費等の状況について、人件費やその他経費が大分増えているが、その理由は何か。
A	会計年度の制度変更による報酬増などが人件費増加の要因となっている。また、空調設備の交換などの施設整備費や光熱水費の増加がその他経費の増加の要因となっている。

Q	園児の間で流行っている病気はないか。
A	（玉姫）今のところない。冬場になると、インフルエンザやコロナが流行るため、感染予防に努めていきたい。 （谷中）ＲＳウイルス、溶連菌が１～２人出ていた。また、夏場には頭ジラミの感染者が出ていたが収束した。
Q	施設の不具合などはないか。
A	（谷中）ドアの開け閉めが重くなってしまっている。不具合については、その都度、施設課に連絡して対応してもらっている。 （千束）こまごましたことは教育施設係に連絡して対応してもらっている。狭いので、園庭や近所の公園を使うようにしている。
Q	谷中保育園は蚊が多いということだが、蚊取り線香以外の方法を検討すべきではないか。
A	園庭や玄関先は蚊取り線香だが、中ではベープマットや液体ベープを使っている。
Q	玉姫保育園では、すくわくプログラムを取り入れているか。
A	やっている。プロのナチュラリスト佐々木氏を呼んで、自然探検をしている。
Q	各園の「ほけんだより」が同じもののようだが、児童保育課で作成して配布しているのか。
A	毎月開かれる看護師会で紙面の約３／４を作成し、残り約１／４を各園で作成している。
Q	給食の献立は、各園共通となっているのか。
A	各園と児童保育課の栄養士による栄養士会で献立をつくるので、原則として各園共通の献立となる。

（２）学校等

監査対象校(園)	松葉小学校
監 査 実 施 日	令和８年１月１６日（金）１３時２０分
主な質疑応答 （Q：監査委員　A：校（園）長）	
Q	子どもたちの伸ばしたい力は何か。
A	学校は寺町や商店街に囲まれた静かな地域にあり、区内の多様な地域を知ってほしい。そのため学びのキャンパスを活用した学習を進めたい。
Q	いじめや不登校の状況はどうか。

A	残念ながらどちらもあるが、学校として把握している。不登校児童は別室登校が可能となり、現在完全不登校児童はいない。また、解決していないいじめ案件もない。
Q	備品購入費の主な内容は何か。
A	ランドセルの規格変更に伴い、数年に分けて収納棚の買い替えを行っている。
Q	ひまわり学級内に不足しているものはあるか。
A	通常学校２学級分の教室をほぼそのまま使用しているため、着替えの場所の確保に苦労したが、パーテーションを付けて運用しているところである。
Q	ポケトークは十分足りているか。
A	あまり使用する状況はない。
Q	夏季水泳指導を各学年１回とした理由は何か。
A	水温が３２度以上になると水中での運動は危険なため、水泳指導ではなく夏季休業中の水遊びの際の事故を防止する目的で、夏休み初めに水難事故防止教室を各学年１回実施する形に絞った。
Q	松葉スタンダードにおける給食指導の内容は。
A	給食指導の指針がなかったため、松葉スタンダードとして教員全員で検討し、新たに指針を作成し実施を始めた。
Q	東京都小学校国語教育研究会研究大会の会場校となった経緯は何か。
A	自分が所属している関係で運営側から依頼があり引き受けた。研究部員である都内各小学校の教員が来校して、児童に授業を行う予定である。

監査対象校(園)	浅草中学校
監 査 実 施 日	令和８年１月１６日（金）１４時１０分
主な質疑応答　（Q：監査委員　A：校（園）長）	
Q	今後変えていきたいことはあるか。
A	生徒の人数が増える予定もあり他人との関係作りが難しい生徒も増えるので、人間関係づくりにつながるプログラムに取り組みたい。
Q	プログラミング学習は今年度から始めたのか。また、何年生が対象か。
A	前任者のときから始めた。１年生が対象である。
Q	吹奏楽コンクールの予算配分について、７年度不明とあるのは何故か。

Ａ	コンテストの結果によるためである。上部大会へ行かれるかどうかで変わってくる。
Ｑ	Ａ組（特別支援学級）現在１２名だがこれはＭＡＸか。また、何か問題はないか。
Ａ	まだ入れる余裕がある。今のところ問題はないが、４年目で初めて卒業生を出したところなので、これからだと思う。
Ｑ	ライオン（企業）と何かやっているか。
Ａ	職業体験をお願いしている。それに係る講演会も開催する予定がある。
Ｑ	入学希望者が多いが、浅草中のどこが魅力だと思うか。
Ａ	学校の説明会では、学力向上、生徒の自己肯定感を高めること、部活動の三本柱を説明している。それで来ていただいているのではないかと思う。
Ｑ	魅力ある教育活動として講演会を開催しているようだが内容は。
Ａ	職業体験と合わせての講演会などである。
Ｑ	前任の学校から生徒数の多い学校へ赴任して良いことは何かあったか。
Ａ	運動会を行って感じたのは、競争心が強く、団結力が強いことである。学年の力、特に３年生の力が学校の力に感じられ素晴らしかった。
Ｑ	塾の先生を招いているのは申込み制か。また、教材や習熟度はどうか。
Ａ	申込み制で、１・２学期は２・３年生、３学期は１・２年生が対象である。教材は塾で用意している。発展コースは塾講師が担当、基礎コースは学力向上推進ティーチャーが担当している。

監査対象校(園)	富士小学校・富士幼稚園
監 査 実 施 日	令和８年1月２０日（火）１３時３０分
主な質疑応答 （Ｑ：監査委員 Ａ：校（園）長）	
富士小学校	
Ｑ	在任中に改革してきたことは何か。
Ａ	教師が「教える」から、子供が「活動し活動の中から学ぶ」ことを実践している。ＩＣＴを活用した活動が遅れていたが、教師が活用の仕方を研修し、子供たちがタブレットを使って自分で学ぶ姿勢が身についてきている。
Ｑ	ミシンの修繕料が増えているようだが、買替の検討はしないのか。
Ａ	約２０台あるので買い替えるとなると費用もかかる。修理をすれば概ね問題なく使用できるので、使える限りは使っていく。
Ｑ	マーチングバンドが東京都代表で何年も連続出場している。素晴らしいことだが保護者の負担は大変ではないか。

A	魅力ある教育活動の予算を活用しているが、子供たちの大会参加費、保護者の大会への入場料など負担はあると思う。
Q	読売ジャイアンツの出前授業というのは何か
A	「学びのキャンパスプランニング」の一環で、選手ＯＢ等が啓発授業を行う。子どもたちが大変楽しく学んでいる。
Q	学校ホームページに令和７年いじめ防止基本方針があがっていたが、何か変更したのか。
A	楽しい授業を実践することなどで未然防止に力をいれている。また、小さないじめも見逃さないことを心掛けている。
Q	校庭が狭いせいか、台東区の児童は体育の授業が苦手と聞いている。運動に力を入れている学校もあったが、富士小学校はどうか。
A	今は縄跳び検定、１２月にはリバーサイド競技場で持久走大会を行っている。
富士幼稚園	
Q	人数が増えて教員数は足りているか。
A	３歳児は１６名以上で副担任がつく。今年度は年度当初から副担任がついている。
Q	預かり保育の時間に事業者が来るのか。
A	朝から来て園内や園児の様子を把握して、預かり時間の午後２時に引き継いでいる。
Q	支援が必要な園児が８名いるということだが、園児が増えていることに比例して増えているのか。
A	元々一定数いるが、養育機関で話を聞き、お友達繋がりで富士にいれようということもある。支援の子どもをたくさん受け入れている園は保護者側の気持ちも軽くなるという意見も聞いている。

監査対象校(園)	桜橋中学校
監 査 実 施 日	令和８年1月２０日（火）１４時３０分～１５時００分
主な質疑応答　（Q：監査委員　A：校（園）長）	
Q	不登校の生徒はどのような状況か。
A	登校頻度は様々だが、小学校から不登校の生徒でも担任が連絡を取り一月から二月に１回程度学校へ顔出しできるようにしている。また、今年、区が不登校の生徒用の部屋（ホットステーション）と人員を配置し、毎日３人くらい利用している。

Q	施設や設備面で課題はあるか。
A	大規模改修から十数年経過しているが大きな課題はない。ただし、施設開放の際、施設が完全独立でないため、体育館の利用者が機械警備の区域内に入って発報する恐れがある。
Q	魅力ある教育活動の推進の水泳指導と安全管理の委託で、安全管理の委託は外部へ委託しているのか。
A	水泳の時に人の配置を外部委託して安全管理を行っている。令和７年度は１名を会社へ依頼し、もう１名を卒業生の保護者へ依頼した。
Q	生徒１人に１台配布しているタブレットの利用に関して、注意している点はあるか。
A	タブレットは充電保管庫で保管し、授業など必要に応じて持ち出して使用しているので、教室以外に持ち出すことは少ない。生徒がトイレに持ち出して動画を見ていたので指導を行った事例はある。
Q	弁護士がインターネットの扱いについて講演しているが、どのように依頼したのか。
A	区から紹介された講座であり、区が弁護士会に依頼していると思われる。インターネットの扱い方によって賠償責任が発生する事例までお話しをしていただいた。（区の「学びのキャンパスプランニング事業」です。）
Q	グローバル教育の推進指定校となっており、海外派遣した５名の生徒をどのように選抜したのか。
A	学校では声掛けと応募者の受付を行い、区で書類選考と面接を行って決定している。海外派遣は今年で３年目となるが、１０名程度応募して５名派遣されており、他校の倍率と比べれば派遣されやすい。

監査対象校(園)	駒形中学校
監 査 実 施 日	令和８年1月２２日（木）１３時２２分～１３時４８分
主な質疑応答　（Q：監査委員　A：校（園）長）	
Q	入学者数の減は大規模改修のことも関係あるか。
A	あると思う。
Q	この４月からの入学者数の予想はどうか。
A	９０名前後の中間集計があったが、私立受験等で半数くらいと見込んでいる。
Q	教員でメンタル面での休職者はいるか。
A	現状ではいない。

Q	不登校の状況はどうか。
A	１年生２年生については、小学校からの継続である。
Q	設備についてはどうか。要望は挙げているか。
A	校内が暗いので大規模改修は、強く改善を希望している。全てＬＥＤ照明になると聞いている。
Q	一昨日研究発表会だったそうだが盛会だったか。
A	教育委員会・教職員のおかげで、研究内容の発表はできる限りのことができたと考えている。
Q	アンガーマネジメントは外部講師を呼んでいるのか。
A	アンガーマネジメント協会というところに依頼している。
Q	改修に係る移転についての予定はどうなっているか。
A	大規模改修のため令和８年８月に引越の予定。令和８年９月から令和９年１２月まで仮校舎に移転、令和１０年１月から改修後の校舎に戻る予定となる。
Q	研究大会について具体的に教えてほしい。
A	主題は「主体的に学習に取り組む態度の育成」 まず全学級で研究授業を行い、講師の先生やご来賓の皆様、他校の先生方に参観していただいた。その後、体育館で研究発表、大学教授による講演。 お越しいただいた方からのアンケートを今後の研修会で利用し、研修の検証を更に深めていく予定である。

監査対象校(園)	千束小学校・千束幼稚園
監 査 実 施 日	令和８年1月２２日（木）１４時００分
主な質疑応答　（Ｑ：監査委員　Ａ：校（園）長）	
千束小学校	
Q	千束小赴任２年での気付きは何か。
A	学校規模は小さいものの、地域との繋がりが強く地域と学校が一体となって教育を進めていると感じている。
Q	学校施設に何か問題はないか。
A	建物は古いが、修繕改修を行って特にトイレはとてもきれいにしてもらった。
Q	プールが校庭の中に配置されているのは使い勝手はいかがか。
A	プールに蓋をできるので有効に使っている。

Q	外国人児童数はどのくらいいるか。
A	日本語を話すのが難しい児童に限ると、８名いる。転校してくる子はほとんど話せない。
Q	千束小・幼とも地元とのつながりが強いが、商店街に周年のポスター等掲示があったのがとてもよいと思った。学校側からの依頼だったのか。
A	商店街会長が学運協の会員で元々つながりがあった。ほかにも各お店との関わりがある中で、昨年度、幼稚園の周年の際にフラッグを飾り、本年度は小学校もフラッグを飾らせてもらった。
Q	学校２０２０レガシーの推進とは何か
A	オリパラ教育の一環でスポーツに親しもう、日本伝統文化を大事にして発信していこうという取組みを１０年ほど前から取り組んできた。オリンピック後も継承し活動を行っている。
Q	台東区は運動が苦手なお子さんが多いと聞くが、千束小ではどうか。
A	児童数は区内小学校１９校で一番少ないが、その割に校庭が広く、屋上に芝生が敷いてあり、外で遊ぶ機会が多い。また、地域のスポーツ大会に学校として参加していることで活躍する場面も多いと考えている。
千束幼稚園	
Q	園児数の増加は預かり保育の影響が大きいのか。
A	元々幼稚園に入れたいと考えていたが仕事の都合等で入れられなかったのが公立幼稚園を選択してくれたことは大きいと思う。
Q	預かり保育は何人いるのか。
A	定期利用は２名、随時は５～１０名。定員に余裕があるので今のところ非定期でも受け入れられている。

監査対象校(園)	東浅草小学校
監 査 実 施 日	令和８年1月２９日（木）１３時３０分
主な質疑応答 （Q：監査委員 A：校（園）長）	
Q	伝統校であるが、改革したいことはあるか
A	長年、人権尊重教育推進校に指定されており、教員の研究も人権尊重教育となっている。若い教員も多いので、教科を強化するための研究とのバランスが課題である。
Q	教員数や超過勤務の状況はどうか。
A	若手の教員も多く超過勤務が発生しているが、夏以降は減少傾向にある。 令和８年度から特別支援教室・あおば学級の拠点校が石浜小学校から東浅草

	小学校へ変更となるため、あおば学級の教員が異動してくる。教員数が多くなるので、どのように仕事を進めていくか考えている。
Q	低学年のバイオリン学習は、３年生からのオーケストラ活動の参加の有無に関わらず、全員が学習するのか。
A	音楽の時間を１時間増やして、低学年児童全員が学習している。
Q	復興小学校の意匠を残して校舎を改修したが、使い勝手はどうか。
A	校内に段差があるため、車椅子の利用者は中庭を通ってからエレベーターへ行くため遠回りとなっている。
Q	第二校庭はどのくらいの頻度で使用しているのか。
A	体育で毎日使用している。
Q	靴の地場産業の教育をしているのか。
A	土曜学校公開の日に足育のコーナーを設けて興味のある方が授業の合間に見に行けるようにした。また、午後に教員向けに３０分程度の講演をしていただいた。来年度以降、家庭教育学級の講師の候補とするか保護者と話をしている。
Q	オーケストラ活動などの音楽の授業に児童はついていけるのか。
A	教員と講師が二人三脚で演奏できるように指導している。
Q	オーケストラ活動を卒業するのはいつか。
A	例年、３月の学校公開の日に演奏会をして卒団している。本年度は、振替休業日に浅草公会堂で演奏して卒団する。桜橋花まつりでも演奏し、６年生は自由参加としている。
Q	人権教育の推進で年６回、研究授業に派遣される講師は誰でどのような内容であるか。
A	講師は２名いる。一人は文部科学省の千々布敏弥氏で、教師が児童を見とり授業をどう構築するかの内容である。前校長が２年間の研究を進めるにあたり、東京都から推薦を受けて依頼した。もう一人は荒川区の小学校長を歴任された長谷川かほる氏で、授業の実践、教師の基礎などの内容である。
Q	３００万円のグランドピアノの寄附の経緯は何か。
A	富士小学校の卒業生から寄附されたもので、教育委員会から希望調査があり受け入れたものである。

監査対象校(園)	石浜小学校
監 査 実 施 日	令和８年１月２９日（木）　１４時１５分
主な質疑応答　（Ｑ：監査委員　Ａ：校（園）長）	

Q	石浜小に来ての印象はどうか。
A	地域との連携がすすんでおり、地域の方の学校に対する愛情が強いと感じた。
Q	着任して校長先生が変えたことは何か。
A	校長として初めての着任だったことから、これまでの学校の状況を継続しつつ探っているところである。なお、3年生に和太鼓子の体験をさせて、3年生から和太鼓クラブに入るよう働きかけている。
Q	和太鼓クラブには何人ぐらい入っているか。
A	しっかりと活動している子が10人くらいである。
Q	この4月からの入学状況はどうか。
A	50名ちょっとで、2クラスである。全校生徒は10名程度増える。
Q	監査資料の教育方針に個に応じた指導の充実とあるが、具体的にはどのようなことか。
A	学力向上推進ボランティアが算数・国語の授業に入り、つまずいている生徒に寄り添った指導をしている。また、生徒がタブレットを使ったドリル学習を行い担任がその進捗を確認しながら進めている。特別支援教育支援員が3名おり、個別指導にあたっている。
Q	重点項目にある牛タンローとはどのようなことか。
A	なめした牛革で製品になっているものである。
Q	4月から情緒障害の生徒指導をはじめると聞いているが場所の確保は問題ないのか。また、EV増築工事は間に合うのか。
A	空いている普通教室や多目的室を活用する。EV工事は令和9年度の完成である。
Q	生徒たちの読書はどのような感じか。
A	全学級が毎週1時間読書の時間を設けている。また、常駐の司書がおすすめコーナーを設けるなど整備をおこない、生徒は興味をもってみている。
Q	学校要覧の中に、緑陰子供会とあるが、緑陰とは何か。
A	PTA 主催の行事であり、1学期終業式の午後に放水訓練をしながら行う水遊びである。夏場に行っている涼しげなという感じである。

監査対象校(園)	金竜小学校・金竜幼稚園
監 査 実 施 日	令和８年２月２日（月）１２時３０分から給食試食、１２時５０分
主な質疑応答　（Q：監査委員　A：校（園）長）	

【金竜小学校】	
Q	本校で校長先生が改革したことは何か。
A	着任当初は落ち着きのない状況があったが、具体的は行動指針を丁寧に伝えることで改善が見られた。
Q	来年度入学者数の見込みは。
A	６０名で２クラス編成になる。概ね横ばいとなる見込みである。
Q	教員体制はどうか。
A	今年度は、副校長昇任に伴う欠員が出たが臨時的任用教員で対応したところが大変だった。
Q	教員の体調等の状況は。
A	心身不良の教員はおらず、和気あいあいとした職場環境である。
Q	重点目標に掲げる人権教育の成果はどのように表れているか。
A	着任当初は児童の暴言等が日常的であったが、言葉の意味から丁寧に指導し、行動面での改善が進んでいる。
Q	アドバンストセーフティプロモーションスクール（ＡＳＰＳ）の取組み開始の経緯は何か。
A	元校長が安全教育に熱心で、大阪教育大学との連携により開始した。
Q	区内での認証状況は。
A	台東区内では金竜小学校のみで、アドバンスト認証は都内でも唯一である。
Q	ＩＳＳ時代からの安全対策（階段手すりへのクッション設置、右側通行徹底など）は他校にも広げてほしい。
Q	特別支援学級の児童数は今年度どの程度となるか。
A	現在の在籍が３３名で、今年度は卒業する児童がいないこと、新1年生が5名入学予定であることから３８名となる見込みである。
Q	ＡＳＰＳの取組みは他校にも広げるべきと思うが。
A	（学務課長回答）法令上安全対策は全校で実施しているが、その上で各校の特色ある教育活動がある。認知が十分でないため学務課でも周知を行っていく。
Q	安全教育の中心は防災か。
A	学校安全委員会が中心となり、防災や地域活動と児童の学びを結びつけることが今後の課題である。
【金竜幼稚園】	
Q	区域外園児が多い理由は何か。

A	３年前は預かり保育実施園が限られており、遠方からの入園が多かった名残りである。
Q	ヒヤリハットはないか。
A	大きな事故はない。校庭が広く日常的に走ることが多いため体幹が強いと感じる。
Q	ビオトープで何を育てているか。
A	にんじん、じゃがいも、たまねぎ、さつまいも、大根などを栽培している。
監査委員意見・要望	
・土に触れる体験は継続してほしい。 ・非常に魅力的な環境だと思う。見学機会があれば入園者増につながるのではないか。	

８　まとめ

（１）事業所

各事業所の事務事業は概ね適正に行われていた。図書館においては、来館者の利便性に配慮した様々なイベントや工夫がなされるとともに、中学生の職場体験の受け入れを行っていた。また、保育園においては、他の保育園と連携して給食献立や保健だよりを作成し、保護者との情報共有に努めていた。

このように多くの事業所では、限られた条件の中で様々な工夫をしているが、現場の工夫だけでは解消できない構造的、設備的な施設の不具合や老朽化が見うけられた。計画的な施設保全により、利用者にとって安全安心な施設環境の維持に努められたい。合わせて、区民サービス向上のため事務内容の見直しや改善の取組みを推進されたい。

（２）学校等

本年度の学校監査においては、小学校・中学校及び幼稚園の教育活動や学校運営の状況について実地監査を行った。各学校においては、学習指導要領に基づいた教育活動が着実に実施されており、児童・生徒が安心して学べる環境づくりに努めていることが確認できた。また、地域との連携や保護者との協働を重視した取組みが継続して行われており、体験活動や地域資源を活用した学習など各校の特色を生かした教育活動が展開されている。幼稚園においては、預かり保育を民間事業者に委託する取組みが開始され、保護者の多様な生活形態に対応した体制整備が進められている。また、児童・生徒一人ひとりのきめ細やかな支援の重要性が高まる中、特別支援教育の充実に向けた環境整備が進められている。

各校では、人権教育をはじめとした心の成長を支える教育が継続して行われており、児童・生徒の自己肯定感や他者尊重の意識を育む取組みが進められている。また小学校においては音楽活動に力を入れている学校が多く、オーケストラや金管バンドなどの活動を通じて、児童が協力し合いながら成果を上げる体験や、情操面の

成長につながる取組みが行われている。さらに、金竜小学校がアドバンストセーフティプロモーションスクールの認証を受けていることは、学校安全に関する先進的な取組みの一例として注目されるところであり、今後の学校運営の参考となることが期待される。

施設面においては、安全で安心な教育環境の確保に向け計画的な整備や環境改善の取組みが進められている一方で、避難経路や施錠方法については、緊急時の円滑な避難の観点から、引き続き適切な管理と点検が望まれる。

今後も、各学校・幼稚園における教育活動が着実に発展し、児童・生徒の健やかな成長を支える取組みが一層推進されることを期待する。